

こうざき 聡 夢からはじまる

http://www.kouzakisatoshi.com

県政報告

令和5年春号



昭和37年9月20日生
平成23年4月福岡県議会議員初当選
平成27年4月二期目
平成31年4月三期目
令和5年4月四期目
添田町立添田小学校・添田中学校卒業
福岡県立田川高等学校卒業
日本大学商学部会計学科卒業
麻生セメント株式会社入社・株式会社
麻生情報システム株式会社代表取締役
社長
福岡県農林水産副委員長、福岡県総務
企画地域振興委員長

福岡県議会議員 神崎 聡

令和5年度当初予算、令和4年度補正予算を審議する2月定例会が3月20日に閉会しました。1,000億円の人づくり、県内GDP20兆円、安全、安心で活力ある社会づくりのための施策を展開し、未来を見据え、「成長・発展」に向けて加速前進する過去最大規模(2兆2,076億円)の予算審議でありました。

3月31日から始まった統一地方選挙(福岡県議会議員選挙)、また4月23日、30日投開票日の田川市郡(田川市、川崎町、糸田町、大任町、福智町)の市長・町長選挙、市議会議員・町議会議員選挙も行われ、将来を見据え、社会のあるべき姿と、潤いのある豊かな県民生活を支える大切な4年間になるものだと思っています。これまで育てて頂きましあた県議会の3期12年間の経験と実績を、これからの地域社会にしっかりと貢献して参ります。

これから予期せぬ難題が次から次へと襲ってくると思います。地元の要望、県政の課題、九州の成長戦略に果敢にチャレンジし、誰も経験したことのない時代を、よりよい街づくりのために、皆さんと一緒に、切り拓いて参ります。

皆様が健やかにお暮らしされるように、心から祈念致します。今後とも、ご指導、ご鞭撻、ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



スマートフォンでも県議会録画中継

ブログ報告



動画報告



フェイスブック



フェイスブックページ



ツイッター



令和5年度当初予算のポイント

令和5年度当初予算と、国の経済対策を最大限活用した令和4年度2月補正予算、令和4年度12月補正予算を合わせた**16か月予算**として、

- ・**1000億円の人づくり**
- ・**県内GDP20兆円への挑戦**
- ・**安全・安心で活力ある社会づくり** のための施策を展開し、

未来を見据え、「成長・発展」に向けて加速前進 する

過去最大の規模となった
令和4年度当初予算と比べ、
446億円(2.1%)増と過去最大

一般会計歳入歳出規模

当初予算	2兆1,975億円	2月定例会提案額 2兆2,076億円
2月補正予算	101億円	
12月補正予算(既決)	697億円	
16か月予算	2兆2,772億円	

財政改革プランの目標達成状況

	財政改革プラン		5年度末見込
	目 標	5年度末見込	
県債残高 (普通会計ベース)	〇やむを得ない要因(※)を除いた 令和8年度末の通常債残高を 令和3年度末よりも500億円程度圧縮	令和3年度末に比べ 282億円の減	令和3年度末に比べ 427億円の減
財政調整基金等三基金残高 (財源調整分)	〇令和8年度末の財政調整基金等三基金残高を 400億円～500億円確保	537億円	638億円

※ やむを得ない要因：災害復旧・復興対策、国の防災・減災、国土強靱化への対応、国の補正予算対応、減収補填債発行、コロナ感染症対策

令和5年予算特別委員会 一、関係人口の創出・拡大に向けた二地域居住について

《神崎聡県議質問》

緑友会の神崎聡です。昨年9月定例会において、私は「田川地域における関係人口の促進について」一般質問をしましたが、本日は、さらに深堀して、関係人口の創出・拡大に向けた二地域居住の実現について質問します。

令和5年度当初予算では、移住・定住促進として1億8,313万円余が計上され、新規として市町村と連携して農林水産業や地場産業など特色ある就業体験を掘り起こすとともに、居住・就業・交流体験が一体となったプログラムを作成し、移住希望者に提供する施策が盛り込まれています。

近年のライフスタイルの変化や新型コロナウイルス感染症拡大による新たな生活様式の推進に伴い、テレワーク等が普及したことによって、地方移住・就職への関心が生まれてきています。このような動きに加え、国民の二地域居住の関心も高まっており、それに合わせ、二地域居住の事業・サービスも生まれる等、二地域居住を取り巻く環境が変わり始めているものと認識しています。

二地域居住は、地域での社会参画・協働、ふるさと回帰等、多様なライフスタイルに込めるものであります。いわば人生を2倍楽しむ豊かな暮らし方といえるんだと考えます。

①まず、来年度の新規事業で、関係人口を創出・拡大し、移住定住の促進につなげていく取組として「移住希望者に対し居住・就業・交流体験プログラムを一体的に提供する事業」が計上されていますが、この事業に取り組む経緯・考え方をお尋ね致します。



《企画地域振興部政策支援課長》

これまで、県では、関係人口の取組として、一昨年、県内外の本県に関心を持つ方に呼びかけ「ふくおかファンクラブ」を設立し、その会員に対して、地域の情報を発信してまいりました。また、本年度は、人気ゲーム「マインクラフト」を活用したコンテンツ等の取組も行ってきたところで、本年度、市町村の転入窓口を通じて実施したアンケート調査において、本県へのインターン生やインターン者の半数以上が、「過去に住んだことがある」「友人がいる」など、移住前に本県との関わりを有していたことがわかりました。

このことを踏まえ、これまでの取組から一歩踏み込んで、移住希望者がより地域に関わり、実際に暮らしを体験してもらうことができる機会を積極的に提供していこうと考えたものです。

《神崎聡県議質問》

私が提案する「二地域居住」は、地方での暮らしを望む方が、中期的あるいは定期的・反復的に地方で生活するものであり、「体験」からさらに踏み込んだものであります。今、県内で二地域居住を実施している自治体はどのくらいあるのかお聞かせ下さい。

《企画地域振興部政策支援課長》

国土交通省が事務局となって組織しています「全国二地域居住促進協議会」には、県内から16の市町村が参加し、国の施策の動向や他自治体の事例など、情報収集を行っております。

また、二地域居住の推進を意識して取組を行っている市町村は、本県で調べたところ3団体となっております。そのうち、例えば、うきは市では、発信力のある県外の方を「デュアルライフ（二地域居住という意味ですが）推進大使」に任命し、第二の生活拠点としてのうきは市の魅力を広く発信する取組を行っています。

《神崎聡県議質問》

民間企業においても、定額の料金で各地の宿泊・滞在拠点が利用できる「定額制住居サービス」をはじめとする住居費等の負担を軽減できるサービスが登場しています。

これまで二地域居住等のネックであった費用面の負担が和らぎ、より気軽に二地域居住を体験できるきっかけとなっており、二地域居住等に対するハードルが低くなりつつあるんだと感じています。

そこで今、企業が実施している二地域居住等を後押しする事業やサービスにはどのようなものがあるのかお尋ね致します。

《企画地域振興部政策支援課長》

委員からご紹介いただきました「住居の定額制サービス」は、ゲストハウスやシェアハウスのほか、ホテルや戸建てが利用できるサービスもあり、利用者のライフスタイルに合わせた居住形態が確保しやすくなるものとなっています。

このほか、テレワークの拡がりに伴って「定額制のオフィスやシェアオフィスの利用サービス」、「サテライトオフィスの整備といった事業が提供されています。また、地域間の移動のしやすさにつながる「定額制の移動サービス」も実証研究されています。

《神崎聡県議質問》

これら民間企業のサービスに加え、観光庁では、国内旅行の現状と新たな可能性を踏まえ、旅行者側の滞在需要の拡大から「何度も地域に通う旅、帰る旅」による交流・関係人口の更なる創出を目指しているんじゃないでしょうか。

少子高齢化などによる人口減少等によって様々な課題が生じている中、その地域の課題の解決の糸口として、二地域居住等に関する取組は、大変、有効的であると私自身は考えています。

人口減少によって担い手の確保が難しい中、例えば、二地域居住者が地域活動に参加することで、人手不足を補うだけでなく、それらの方々が地域活動に参加することで、地域に新たな価値が生まれるといった質的な向上の可能性も生まれてきます。

県として二地域居住の推進の社会的意義を、どのように捉えているのかお尋ね致します。

《企画地域振興部政策支援課長》

二地域居住を推進する社会的意義としては、ただいま委員が述べられたような、「地域の新たな担い手の確保」や「地域に新たな価値が生まれる」といったことが考えられます。また、二地域居住は、一定期間ではあります。別の場所に生活の拠点を置く暮らし方であることから、将来の移住にも繋がり得るものであります。

行政サービスの提供と公平な税負担といった課題について、現在、国において検討がなされているところですが、県としては、二地域居住の推進は、移住・定住を促進する点で有効な手段であり、意義のある取組であると考えます。

《神崎聡県議質問》

二地域居住等に関する取組みの推進にあたっては、国土交通省のガイドラインを示しています。まず、地域の暮らしに関する情報発信、次に、二地域居住希望者への相談対応、そして地域に住んでみたいと思うきっかけづくりといったステップを踏んだ取組が示されております。

県として今後の取組をどのように考えているのかお尋ね致します。

《企画地域振興部政策支援課長》

県では、これまでも、移住セミナーのテーマの一つとして「二地域居住」を取り上げるなど、二地域居住も含め移住・定住の促進に取り組んできたところで、

具体的には、ポータルサイトによる情報発信、東京及び福岡の移住相談窓口の設置、関係人口の創出・拡大など同様のステップで取組を進めてまいりました。

二地域居住を進めていくためには、空き家の活用やテレワーク施設の整備、就業の場の確保、子育て環境の充実など、その地域で安心して生活していくための施策を、県庁内の関係部局と連携のうえ、市町村と一体となつて総合的に進めていくことも必要と考えます。

このため、移住定住に係る庁内の連絡会議や市町村に対する説明会・研修会などにおいて先進事例や支援策等の情報を共有し、分野の取組が進むよう促してまいります。

《神崎聡県議質問》

二地域居住の推進は、市町村との連携が不可欠であります。是非田川市郡の市町村と連携して取り組んで頂くことを強く要望します。最後に、二地域居住の推進により関係人口を増やし、移住・定住へと繋げ、人口減少に歯止めをかける部長の決意をお聞かせ下さい。

それと、部長も私と同じ年ですが、3月で定年を迎えられます。実は部長の奥様とは私が会社勤めをしていた時に、新雇用開発課におられました。子育て応援宣言で大変お世話になっていました。確か、奥様の実家はみやこ町だったと思います。確かに、二地域居住、あるいは田舎暮らしに関して、部長の個人的な感想を差し支えなかったらお聞かせ下さい。

《企画地域振興部長》

私事で恐縮です。私は福岡市内に生まれ今も住んでおりますが、妻の実家がみやこ町で農家を営んでおりましたので、毎年休日と休暇を利用して、家族全員で一定期間滞在し、農繁期には実家だけでなく地域の方々と共同して田植えや稲刈りなどを行ったり、夏は地域のお祭りに参加するなどしてきたところです。今思えば、都市部に住みながら、田園ライフを謳歌するといふ、まさに、二地域居住の醍醐味を味わってきたのだなあと思っています。私自身、また子供たちにとって楽しく豊かな生活の体験であつたと思います。

二地域居住についてでございます。福岡県は、首都圏での移住相談の件数は、近年、全国でトップクラスにあります。そして実際の移住実績も一定の成果を上げているところですが、その多くが福岡都市圏を中心とするものであります。

今後、田川地域をはじめ、福岡都市圏以外の地域への移住を進めていくことが最大の課題であると考えます。

委員からご指摘のあった、二地域居住は、多様な暮らし方の一つの形態であり、近年のテレワークや副業・兼業等、新しい働き方、多様な働き方の広がりや相まって、地方への移住を進めるにあたって、有効で意義あるものであると思います。今回、来年度からの新たな取組に必要な予算をご提案させていただいております。より、多くの方が、本県での生活に関心を持ち、地域で暮らし始めていただきたいと思います。二地域居住をはじめとした移住定住促進の取組を、市町村としっかり連携して取り組んでまいりたいと考えております。

令和5年1月福岡県議会ハワイ州議会訪問団（令和5年1月16日～20日）

令和5年1月16日～20日の日程で、福岡県議会ハワイ州議会訪問団の一員として参加してきました。これはハワイ州議会よりの福岡県議会への招聘で、県議会議長の指名による各会派の代表として議員派遣されました。コロナ禍のため3年ぶりに福岡県議会として、歴史と伝統のあるハワイ州議会の開会式を拝見させて頂きました。また、昨年11月8日のハワイ州知事選挙が行われていて、当選されたジョシュ・グリーン知事とシルヴィア・ルーク副知事にも意見交換することができ、特にジョシュ・グリーン（ハワイ州）知事は、前政権のイグ知事政権下で副知事として、医師である経歴を活かしコロナ関連対策などで活躍されていたので、今回の大きなミッションである「福岡県ワンヘルス」への取り組みとハワイ州との連携についての意見交換（会談）ができたことは、歴史的な会合だったのではないかと考えます。後世、この会談がアフターコロナの大きな進展に繋がったと言われるんじゃないかと感じます。

福岡県とハワイ州は1981年9月に「友好提携」を結び、翌年の1982年1月には、福岡県議会とハワイ州議会との間で「国際友好親善促進の盟約」の締結を行っています。それ以来、文化、経済、教育等幅広い分野で交流が行われ、草の根レベルでの交流も広がっています。

今後は、ポストコロナ時代を見据えた両県州の連携強化に取り組む必要があると考えます。福岡県と福岡県議会は、人と動物と環境の健康を一体的に守る「ワンヘルス・アプローチ」の普及に取り組んできていますが、ハワイ大学もワンヘルスに大変先進的に取り組まれています。今回、日本獣医師会会長並びにアジア獣医師会連合会長の蔵内勇夫先生をはじめとして、前世界医師会前名誉会長の横倉義武先生、福岡県ワンヘルス推進調査特別委員会委員長で医師でもある秋田章二先生、日本獣医師会理事及び福岡県獣医師会会長の草場治雄先生が、ハワイ大学を訪問され、連携のあり方について協議されています。桐明和久福岡県議会議長からも、「今後とも福岡県とハワイ州の相互交流をさらに活発化させ、両地域に経済や文化の進展につながるように、活動を充実させていきたい。」との発言がありました。

まさに新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックによる非常に厳しい3年間を経験してきました。しかしながら、世界はようやく、この事態に対応する力をつけてきたと思います。今回の訪問で、福岡県とハワイ州が、ポストコロナ時代を見据えた連携強化に取り組んでいく意義は、両県・州のみならず、世界の先進的取り組みになっていくんだと思います。蔵内勇夫会長からハワイ大学との論議について、ジョシュ・グリーン（ハワイ州）知事にご紹介され、桐明議長から4月中旬に予定されている、服部誠太郎福岡県知事のハワイ州訪問に際し、ワンヘルスは両県・州の新たな連携テーマとして大変相応しいと考えるので、グリーン知事にご検討して頂くように服部誠太郎知事からのメッセージも伝えられました。

二元代表制の福岡県は、県知事（執行部）と県議会が車の両輪に例えられるように、目的や目標を達成するために、スピードを加速化し、成果をより充実させるように、それぞれの役割と使命をしっかりと果たしています。

今回の訪問先を以下の通りです。

- ①国立太平洋記念墓地（パンチ・ボウル）～中央祭壇に花輪を献花。故ダニエル・イノウエ連邦上院議員（八女市がルーツ）、故エリソン・オニズカ宇宙飛行士（うきは市がルーツ）
- ②ハワイ日本文化センター～1994年、日系人の歴史と文化的遺産を残す目的で、「おかげさまで」「I am what I am, because of you」と云う名の展示場が開設された。ここは資料室が併設されており、ハワイの日系人に関する貴重な本や書類が保存されている。
- ③ハワイ大学との意見懇談会～サンドラ・チャン教授ほか
- ④ハワイ州知事表敬訪問～ジョシュ・グリーン知事ほか
- ⑤ハワイ州議会下院議長表敬訪問～スコット・K・サイキ ハワイ州議会下院議長ほか
- ⑥ハワイ州議会上院議長表敬訪問～ロナルド・D・コウチ ハワイ州議会上院議長ほか
- ⑦ハワイ福岡県人会懇談会～マイルズ・ノムラ ハワイ福岡県人会会長ほか
- ⑧在ホノルル日本総領事表敬訪問～青木豊 在ホノルル日本総領事ほか
- ⑨在ホノルル日本総領事懇談会～ジョージ・アリヨシ 元ハワイ州知事・令夫人、ハワイ福岡県人会ほか





地元の要望に！ 県政の課題に！ 九州の成長戦略に！

- 広域的交流・物流を担う幹線道路の整備**

 - 主要地方道田川直方線延伸整備（国道201号と国道322号連結）
 - 一般国道322号バイパス並びに国道201号全線早期完成

観光拠点等へのアクセスを強化し交流を促進する道路整備

 - 一般国道500号の改良促進（朝倉駅一別所駐車場早期改良の促進）
 - 主要地方道添田赤田線の整備促進
 - 一般県道行橋添田線道路改良事業

災害の防止、安全安心は河川・道路空間の整備

 - 2級河川小川（赤村特産物センター周辺の郷土の水辺整備事業）
 - 主産品傾斜地崩壊対策事業

地域振興と地場産業の育成

 - JR日田彦山線BRT早期整備と利用促進、平成県道新橋光列線の整備
 - 路線バスやコミュニティバスなど生活交通の維持確保
 - 移住・定住・関係人口促進、地域間交流の促進
 - ブランド化を通じた地域産物の競争力を強化
 - 新規就農者育成と定着、中山間地域農業の活性化と女性（新商品開発支援6次産業化）の活躍を推進
 - 有害鳥獣被害防止対策
 - 農村環境整備事業（環境整備・農業用施設、県営施設等）予算増大と補助率見直し
 - 県営ため池等整備事業、農業用水利施設の経年劣化に伴う予算確保
 - 伝統的工芸品や特産品工芸品などの伝統工芸産業の後継者の確保育成、販路拡大等

次代を担う「人財」育成

 - 県立田川高等学校の学力向上による国公立、有名校への取り組み
 - 県立高等学校の総合選択制教育課程を充実した教育内容の充実
 - 県立田川高等学校のフレックスタイム型半日制の特色を生かした教育の実践
 - 県立田川高等学校技術高等学校の土木人材の育成と地元就職促進
 - 県立川崎特別支援学校に高等部を設置要望と県立大学との高大連携
- 未来を見据えた重点政策**

 - 次代を担う「人財」育成（学校教育の充実、グローバル社会で活躍する青少年育成）
 - ウェルハスの推進（人口共通感染症対策、薬剤耐性菌対策、ウェルハス基盤整備）
 - 移住定住の促進（地域の基幹産業振興による雇用創出、U・Iターン就職支援）
 - デジタル社会、グリーン社会の実現（地域社会と行政のデジタル化、脱炭素化に資する産業振興）

感染対策・防災対策（感染症や災害に負けない強靱な社会の実現）

 - 新型コロナウイルス感染症対策と地域経済の活性化の両立
 - 頻発する災害からの復旧、JR日田彦山線沿線地域振興、治水、耐震化、老朽化対策

雇用対策（中小企業の振興、農林水産業の振興、観光産業の振興）

 - 経営基盤強化、たな事業展開促進、小規模企業等の事業の持続的な発展
 - 生産力強化、ブランド力強化・販売促進、人材育成、持続可能な農林水産業に向けたウェルハス推進

健康づくり対策（医療、スポーツ、文化芸術、高齢者・障がいのある人）

 - 健康寿命の延伸、がん・難病対策、医療提供体制確保、医療保険制度の安定運用
 - スポーツ活動推進と環境づくり、スポーツを通じた地域経済活性化
 - 文化芸術活動推進と環境づくり、文化芸術を活用した地域活性化
 - 高齢者活躍、地域包括ケア、介護サービスの確保、障がいのある人の生活支援

教育問題（確かな学力、信頼される教職員の育成）

 - 学力向上支援チームの重点的派遣、教員研修や教材・教員の開発など経費の補助
 - 定年延長に伴う採用試験の工夫改善、ベテラン教員指導技術継承、教員の指導力養成

観光振興・地域振興・農林振興・商工業振興

 - 八木山バイパス4車線化整備促進と渋滞緩和
 - 良好な景観づくりなどの街並み整備、九州一体となった観光客誘致の取り組み
 - 食文化や自然、歴史文化など、地域の資源を生かした観光地づくり
 - 安全で安心な商品品質な農林産物の供給、商店街の活性化
- 九州 Earth 戦略**

 - クリーン（Energy&Environment）
 - 農林水産省・食品（Agriculture）
 - 観光（Tourism）
 - 医療・ヘルスケア・コスメ・（Health）

クリーン

 - グリーンで経済的なエネルギーの供給拠点化、水素エネルギーを活用したBRT
 - 省エネルギー・先端拠点の形成、アジアにおける環境・エネルギー関連産業の先進

農林水産省・食品

 - 海外市場への展開促進、国内外の販路開拓・流通生産体制構築、九州ブランドの創設・流通システムの強化、事業規模の拡大・安定供給体制の構築
 - 農村部の再生可能エネルギーの活用、農山村の振興

観光

 - 九州ブランドイメージ、観光インフラ整備、九州への来訪促進、来訪者の滞在
 - 消費促進、クールジャパンと連動した観光振興

医療・ヘルスケア

 - 健康長寿を目指した予防医療・健康増進サービスの産業創出、医療機器分野への参入促進・海外展開、先端医療・治療分野における新産業の創出、機能性健康食品関連産業の活性化、化粧品関連産業の振興

地方創生の推進について

 - 東京一極集中の是正
 - 少子化対策の抜本的な強化
 - 地方でのしこころの場づくりに向けた取組の強化
 - 社会基本の地域間格差の是正

略歴

昭和53年	添田町立添田中学校卒業
昭和56年	福岡県立田川高等学校卒業卒業卒業
昭和60年	日本大学商学部会計学科卒業
昭和60年	麻生セメント株式会社入社
平成2年	株式会社麻生情報システム転籍（分社化）
平成12年	株式会社麻生情報システム 取締役
平成13年	株式会社麻生情報システム 代表取締役
平成23年	福岡県議選（田川郡区） 初当選
平成27年	福岡県議選（田川郡区） 2期目当選
平成31年	福岡県議選（田川郡区） 3期目当選
令和5年	福岡県議選（田川郡区） 4期目当選

福岡県議会で主な所属

福岡県タイ友好議員連盟
福岡県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟
福岡県日韓友好議員連盟
福岡県日米友好議員連盟
福岡県日中友好議員連盟
福岡県国際交流推進議員連盟
福岡県ベトナム友好議員連盟
福岡県台湾友好議員連盟
福岡県防衛議員連盟
福岡県農林振興議員連盟
過疎地域活性化対策福岡県議員連盟
産業地域活性化対策福岡県議員連盟
オイスカ国際活動促進福岡県議員連盟
福岡県観光産業振興議員連盟
福岡県文化議員連盟
福岡県スポーツ議員連盟
九州・沖縄未来創造会議
九州の自立を考える会
日本会議福岡支部 幹事
田川直方バイパス延伸推進期成会 顧問
田川広域観光協会 理事
北九州下関道路整備促進福岡県議員連盟
日田彦山線復旧問題対策協議会 委員
福岡県地域公共交通事業振興議員連盟



神崎聡先生は、3期12年にわたり県議会議員を務められ、この間、総務企画地域振興委員長など数々の要職を歴任され、現在は、緑友会福岡県議団の副会長として、福岡県の発展を力強く支えていただいております。

果ては、これまで新型コロナウイルス対策を中心に、幾度となく補正予算を編成していますが、先生には、財政を所管する総務企画地域振興委員長として、これらの対策を迅速かつ的確に進めるため、御尽力をいただきました。

また、「九州の自立を考える会」においては、JR日田彦山線の復旧に係る協議会の委員として「日田彦山線沿線地域振興基本構想」の策定に御尽力され、果ては、この構想をもとに県計画を策定し、BRT開業に向けた取組や英彦山を核とした観光資源の開発など、沿線地域の振興に取り組んでいるところです。

田川郡、福岡県の発展と県民福祉の向上のため、神崎先生の益々の御活躍を心から祈念しております。

福岡県知事 服部誠太郎

こうざき聡事務所

〒824-0602 田川郡添田町大字添田1417

TEL: 0947-82-5559 FAX: 0947-82-5533

こうざき聡 ホームページ

こうざきさとし

検索

- 令和5年1月

 - 1月1日 須佐神社元旦祭
 - 1月4日5日 業団体仕事始め挨拶まわり
 - 1月6日 豊前川崎商工会議所新年祝賀会
 - 1月8日 添田町消防出初式、成人式
 - 1月9日 自民党副総裁麻生太郎先生国政報告会
 - 1月10日 文教委員会・管内視察、議員総会
 - 1月11日 農林水産委員会飯塚農林事務所視察
 - 1月16日～20日 県議会ハワイ州公式訪問
 - 1月24日 地域挨拶まわり
 - 1月25日 議員総会・政策審議会
 - 1月25日 福岡県農政推進府授与式
 - 1月26日～29日 地域挨拶まわり
 - 1月30日 中小企業団体連合会新年賀詞交歓会
 - 令和5年2月
- 2月1日～8日 地元企業団体まわり

 - 2月9日 日田彦山線沿線復旧対策協議会
 - 2月10日 福岡県農政連統一地方選決起大会
 - 2月11日 筑豊地区建国記念の日祝賀会
 - 2月13日 議員総会・政策審議会
 - 2月13日 福岡県農協中央会補正予算要請
 - 2月14日 令和5年度予算・補正予算勉強会
 - 2月20日～3月20日 2月定例会
 - 2月27日28日 代表質問
 - 2月28日 福岡県タイ友好議員連盟
 - 令和5年3月
 - 3月1日～3日 一般質問
 - 3月2日 森林・林業・林産業活性化議員連盟
 - 3月3日 予算特別委員会
 - 3月4日 地区公民館活動
- 3月5日 明達館高等学校卒業証書授与式

 - 3月5日 ライオンズクラブ3R-2Z
 - 3月6日7日 文教常任委員会
 - 3月8日～14日、16日 予算特別委員会
 - 3月15日16日 文教常任委員会
 - 3月16日 養蜂組合総会
 - 3月18日 県政報告会
 - 3月26日 川崎町長決起大会
 - 3月27日 緑友会県政報告会
 - 3月31日～4月9日 福岡県議会議員選挙
 - 令和5年4月（予定）
 - 4月11日 議員総会
 - 4月18日～23日 統一地方選挙（川崎町・糸田町・大任町・田川市）
 - 4月25日～30日 統一地方選挙（福岡市）